

第43回全日本都市対抗テニス大会

さいたま市は全国大会初の **3位!**



第43回全日本都市対抗テニス大会が7月19日－21日まで鹿児島県立鴨池庭球場にて行われました。さいたま市は今年1月に行われた埼玉県大会で優勝を飾った選手をさらに強化しての挑戦で、近づく台風を横目にしながらも全選手がすべての力を出し切ったの見事さいたま市歴史に残るベスト4を果たしました。

団体戦のプレッシャーを振り切ったの全員団結力をもとに獲得した偉大な記録です。

選手の皆様、おめでとうございます。

ご支援ご声援いただいた関係者の皆様、ご尽力いただいた役員へも心より感謝申し上げます。

本大会は来年の鹿児島国体のリハーサル大会であり、県立鴨池庭球場は2年前に火山灰対策兼ねたハードコートで設立された、桜島を見上げる絶景の場所にある施設です。



【試合内容】

1R強豪とされる大阪市に総力戦で挑んだ結果、何とか4-3で勝利しました。

この1R突破したのが結果的には大きな飛躍につながる第一歩この勢いで、2R神戸戦に臨み結果4-2で勝利、この4勝の中でもベテラン勢が3勝した功績が大きかった試合でした。

そして、翌日に同じ関東地区印旛郡市とのQFこれも接戦となり、3-2で最後に決めたのは一般男子の三好選手がMP握られた中で一発逆転のフォアクロスショットは、精神的にも実力的にも今回のさいたま市を強調する最高のポイントでした。

ここに来て、初めてのベスト4に一息ついたのか、SF東京都戦には前半なかなか力が発揮できずに3敗まで押し込まれてしまい、その後ベテランが2勝盛り返しましたが、先方のプロで国体選手に一般男子Sが敗北、2-4と万事休す、ついに影を落とすこととなりました。

総じて、今回のさいたま市は元国体選手の採用、ハイレベルなベテラン勢力が大きく寄与し、そして何より団体戦の戦い方の基本である全員一位団結したチーム力が快進撃の源となったように感じます。

さいたま市テニス協会の長期ビジョンにある「都市対抗全国大会の優勝」へ大きく近づいた記念の大会であります。

記：さいたまテニス協会理事長
小林一幸

・・・・・・・・さいたま市 15回出場したことで表彰されました・・・・・・・・



・・・・・・・・・・・・・・・・選手紹介・・・・・・・・・・・・・・・・



一般男子

田口正一郎・三好健太



一般女子

三枝美哉・金井綾香・河田景子



ベテラン男子1部

木村貴大・関根浩王



ベテラン女子

鎌田桂子・小野田愛子・高橋えみ子



ベテラン男子2部

石川英明・塩澤正樹

結果詳細はこちらで

<https://www.ita-tennis.or.jp/tournaments/tabid/129/Default.aspx>

